

「多文化共生」を考える研修会2016 開催結果

1 趣旨

日頃から外国人県民と接する機会が多い県・市町職員、教員、福祉事務所などのケースワーカー、日本語ボランティアなどを対象に、外国人県民の現状や様々な課題について、共に学び、理解を深めるための研修会を開催することにより、すべての人々が安全で安心して生活できる多文化共生社会の実現を推進する。

2 主催

(公財)兵庫県国際交流協会、特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市

3 内容

テーマ	時間	内容	講師等
8月17日（水） 国際健康開発センター 会議室1			
総論	13:30～13:35	主催者あいさつ	(公財)兵庫県国際交流協会 副理事長 多木 和重 (特非)神戸定住外国人支援センター 理事長 金 宣 吉
	13:35～15:30	外国にルーツを持つ人々たち取材して	杉山 春(ルポライター)
	15:45～16:00	ひょうご多文化共生社会推進指針について	土井 英樹(兵庫県国際交流課地域国際化班長)
	16:00～16:45	これからの多文化共生への取り組み ～ひょうご多文化共生社会推進指針策定に関わって～	乾 美紀(兵庫県立大学准教授)
8月19日（金） 海外移住と文化の交流センター ホール			
外国にルーツを持つ子どもの教育	13:30～15:30	浜松における外国にルーツを持つ多様な子どもたちの現状と課題、そして未来	池上 重弘(静岡文化芸術大学教授)
	15:45～16:45	兵庫県における子ども多文化共生教育について ～外国人児童生徒のための学習支援事業の取組～	樋口 正和(兵庫県教育委員会人権教育課長)
8月22日（月） 国際健康開発センター 会議室1			
世界の難民・移民とシティズンシップ	13:30～15:00	トルコのシリア難民の現状と取り組み	景平 義文(特定非営利活動法人 難民を助ける会プログラムオフィサー)
	15:15～16:45	ドイツ在住トルコ系移民の文化と地域社会 ～移民の社会的統合とシティズンシップ～	石川 真作(東北学院大学准教授)
8月26日（金） 国際健康開発センター 会議室1			
外国人当事者のエンパワーメント	13:30～15:00	被災地福島に移住女性と子どもたち	佐藤 信行(福島移住女性支援ネットワーク) 城坂 愛(「つばさ～日中ハーフ支援会」副会長)
	15:15～16:15	中国帰国者コミュニティのサポート事業 ～外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクトなど～	王 榮(NPO法人東海外国人生活サポートセンター代表)